

製品名: MAT1A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02232**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAT1A
別名	MAT; SAMS; MATA1; SAMS1; MAT1A
遺伝子 ID	4143
SwissProt ID	Q00266
免疫原	ヒト MAT1A の合成ペプチド

背景

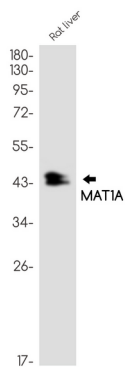
この遺伝子は、ATP のアデノシル基をメチオニンに転移させて S-アデノシルメチオニンとトリポリリン酸を生成し、その後 P_{PPi} と P_i

に切断される2段階反応を触媒します。S-アデノシルメチオニンは、ほとんどの生物学的メチル化におけるメチル基の供給源です。コードされているタンパク質はホモテトラマー (MAT I) またはホモダイマー (MAT III) として存在し、3番目の形態である MAT II (γ) は MAT2A 遺伝子によってコードされています。この遺伝子の変異は、メチオニンアデノシルトランスフェラーゼ欠損症と関連しています。

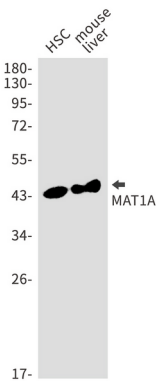
研究分野

シグナル伝達

画像データ



MAT1A 抗体を使用したラット肝臓溶解物中の MAT1A のウェスタンブロット分析。



MAT1A 抗体を使用した、HSC、マウス肝臓溶解物中の MAT1A のウェスタンブロット分析。